

かすみがうら市農村環境改善センターの新たな利活用について

当施設については、令和6年4月1日より施設の老朽化等もあり当面の間休館としておりますが、施設の利活用に興味・関心がある民間事業者が存在することから、事業提案型一般公募（プロポーザル方式）を実施し、施設の効率的・効果的な管理運営及び有効活用を図ることといたします。

1. 施設概要

- (1)住所 茨城県かすみがうら市坂 934-1
- (2)構造 鉄筋コンクリート造 地上3階
- (3)敷地面積 9,604.13 m² / 建築面積 625.00 m² / 延べ面積 1,190.78 m²
- (4)起工 S57.11.9 / 竣工 S59.10.20 / 開館 S59.11.1
- (5)事業費 200,300,000 円
- (6)国県補助金 140,210,000 円
- (7)活用事業 農村総合整備モデル事業（農林水産省）
- (8)内部詳細
 - 1階 研修集会室(1) 和室 27畳・研修集会室(2) 和室 24畳
生活実習室(1) 和室 9畳・生活実習室(2) 和室 12畳
浴室（男女別）・その他（管理人室、湯沸室など）
 - 2階 玄関 24.50 m²・ホール 99.60 m²・談話室 57.60 m²・調理実習室 57.60 m²
相談事務室 33.60 m²・その他（倉庫、機械室など）
 - 3階 大会議室 288.00 m²・農事研修室 50.40 m²・その他（倉庫、湯沸室など）

2. 施設及び周辺の状況

本市の観光拠点である歩崎地域については、ナショナルサイクルルートに指定された「つくば霞ヶ浦りんりんロード」をはじめ、観光の拠点である交流センター（畔の駅コハン）、旧佐賀小学校を利活用したキャンプ場の CAMPiece、さらには宿泊施設として「古民家江口屋」や令和6年7月にオープン予定の一棟貸「古民家水郷園」など、ハード面において年々整備が進むとともに、サイクリングイベントや栈橋を活用したウォーターアクティビティといった体験型コンテンツの充実など、ソフト面においても充実化が図られています。

一方で農村環境改善センターについては、これまで地域の集会、スポーツ団体の合宿、文化団体等の研修等に幅広く利用されてきましたが、施設の老朽化や新型コロナウイルス感染症の流行による行動変容などから、貸館、宿泊ともに利用者の減少が著しい状況です。

このような状況を踏まえ、当該施設については民間活力による活用へと方針を定め、事業者が参入できる体制づくりを整えたいと考えております。

3. 利用実績及び維持管理費

	H30	R1	R2	R3	R4	R5
利用数（人）	2,712	1,642	590	804	1,257	1,023
維持管理費（円）	6,688,973	6,580,140	6,340,757	3,754,211	3,921,426	5,765,246
使用料収入（円）	674,780	615,310	37,410	72,530	130,155	278,730

4. 今後の主なスケジュール(案)

- ・ R6.7 公有財産取得価格等評価委員会
産業建設委員会
農村環境改善センター管理運営委員会
- ・ R6.8 全員協議会
借地権者協議
- ・ R6.9 公募開始／プロポーザル審査会
- ・ R6.10 基本協定締結
地域住民説明会
- ・ R6.12 設置管理条例の廃止
- ・ R7.1 契約締結
- ・ R7.4 物件引き渡し

5. 施設敷地



- 市所有地
- ①坂 925-4 (763.45 m²)
- ②坂 937 (327 m²)
- ③坂 934-1 (2,720 m²)
- ④坂 933-6 (1,661.39 m²)
- ⑤坂 933-11 (29.73 m²)
- ⑥坂 932-3 (7.56 m²)
- 合計 (5,509.13 m²)
- 借地
- ①坂 925-2 (1,586 m²)
- ②坂 936 (874 m²)
- ③坂 938-1 (16 m²)
- ④坂 938-2 (1,607 m²)
- 合計 (4,083 m²)